

消防職員 特別教育

## 第18回警防活動教育を実施しました

[期 間] 令和5年5月30日（火）から6月7日（水）まで  
7日間（56時限）

[会 場] 埼玉県消防学校

[到達目標] 厳しい条件下において、警防活動を遂行し得る旺盛な士気の下に  
基本的知識と技術の向上が図られ、警防隊員として適切かつ効果的  
な消防活動ができる。

[教育対象] 警防活動に従事させようとする者で、初任教育修了者かつ採用後  
3年以上の消防経験を有する35歳以下の者

[修了者] 26消防本部(局) 59名



第18回警防活動教育 日課表

自 令和5年5月30日(火)

至 令和5年6月7日(水)

月/日 (曜)	小隊	1時限目 8:40~9:30	2時限目 9:30~10:20	3時限目 10:40~11:30	4時限目 11:30~12:20	5時限目 13:20~14:10	6時限目 14:10~15:00	7時限目 15:20~16:10	8時限目 16:10~17:00	備考
5/30 (火)	1	入校式 校内服務	学生面談	安全管理指導			資機材 車両説明	水力換気の 取扱訓練	グループ ミーティング	1日目 (帰宅日)
	水力換気の 取扱訓練						資機材 車両説明			
5/31 (水)	1	火災性状確認 (FCB)		熱画像直視装置 取扱訓練		吸気排煙訓練 (PPV)			2日目 (帰宅日)	
	2									
6/1 (木)	1	ポンプ運用訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								3日目 (帰宅日)
	2	消防活動訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								
6/2 (金)	1	消防活動訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								4日目 (帰宅日)
	2	ポンプ運用訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								
6/3(土)										
6/4(日)										
6/5 (月)	1	木造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								5日目 (帰宅日)
	2	耐火造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								
6/6 (火)	1	耐火造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								6日目 (帰宅日)
	2	木造火災想定訓練 (訓練準備、撤収・整備含む)								
6/7 (水)	1	効果測定	隊員退出・緊急退出要領			車両・資機材整備		校内服務	修了式	7日目 修了日
	2									

【各訓練概要】

入校式・校内服務	1時間	入校式・消防学校内での服務指導
学生面談	1時間	訓練実施に伴う学生の事前面談
安全管理指導	3時間	警防活動訓練における安全管理指導
資機材・車両説明	1時間	使用資機材・車両の説明と作動確認
水力換気の取り扱い訓練	1時間	水力換気ノズルコブラの取り扱いと体験
グループミーティング	1時間	グループミーティング及び防火フードを含めた個人防火装備の完全着装要領指導を含む
火災性状確認	3時間	ファイアーコントロールボックスを使用した燃焼確認展示
熱画像直視装置 取り扱い訓練	2時間	熱画像直視装置の基本的な取り扱い方法について 現場での具体的な使用方法の展示
吸気排煙訓練	3時間	消防小隊で行う吸気排煙の展示及び訓練
ポンプ運用訓練	8時間	ポンプ運用にかかる性能熟知とトラブルシューティング能力向上訓練、 ホース延長能力向上訓練、中継要領、遠距離放水訓練
消防活動訓練	8時間	目的に合わせた放水技術向上訓練、三連はしごを使用した救出訓練、 屋内進入・検索要領
木造火災想定訓練	8時間	小隊別による木造火災想定訓練
耐火造火災想定訓練	8時間	小隊別による耐火造火災想定訓練
効果測定(学科)	1時間	学科の効果確認
隊員救出緊急退避要領	3時間	活動中の部隊内事故対応能力向上訓練、その他の技術展示及び訓練
車両・資機材整備	2時間	訓練施設・車両及び資機材の初期状態整備、庁舎内環境整備
校内服務	1時間	校内服務
修了式	1時間	修了式
計 56時間		



スローガンは「ONE TEAM!!」



安全管理指導(訓練マット設定)



水力換気取扱訓練



熱画像直視装置取扱訓練



火災性状(ファイアコントロールボックス)



吸気排煙訓練(教官展示)



PPVを使用した火災救助



三連はしごを使用した救出



1秒でも早く住民の下へ



実際の災害をイメージするため発煙機にて訓練用の煙を設定



各種放水要領



絶対に消す！！



水流ベンチレーション



出火室へ進入時準備よし！！



木造火災想定訓練



支援教官による消防車についての説明



気持ちをひとつに



アメニモマケズ・・・



隊員退出・緊急退出要領



訓練に始まりあって終わりなし！！

## 修了しての感想

7日間という短い期間でしたが、本気で火災と向き合い、自分と向き合い、仲間と向き合う充実した学生生活でした。教官、助教官の方々の熱意ある指導及び洗練された訓練内容等により、誰もが集中できるとても良い環境の中で訓練を行う事ができました。恵まれた環境の中で多くの知識や技術を学ぶことができ、とても7日間とは思えない身のある学校生活を送ることができました。

「命を救う為ならどんな妥協もしない。諦めない。必ず救って必ず帰る。」

教官がおっしゃっていた言葉です。この言葉は訓練中、常に頭の中にもありました。今後もこの言葉を胸に活動していきます。

第18回警防活動教育のスローガンは ” ONE TEAM” 。総代として特別な事はしていませんが、どんな場面でもかっこつけないで一生懸命やる事だけを意識して取り組みました。全員が同じ方向を向いて ONE TEAM になれたと感じています。

警防活動教育を通して、今後の消防人生の糧となるような大きなものを得ることができました。修了してからがスタートだと考えています。ここで得たものを出し惜しみすることなく所属に還元していきたいと思います。

## 後輩へのメッセージ

教育期間中は失敗を恐れることなく取り組んでほしいです。失敗しても、次にどうすれば良いのかすぐに隊の中で話し合い、訓練を繰り返し行う、警防活動教育はそんな場所です。また、普段やってみたくても施設等の関係でできない訓練や、火災時の具体的な活動を実際に訓練で行うことができるのが最大の魅力だと感じました。

長期間事前準備から指導まで携わっていただく教官・助教官の方々、所属の方々、支えてくれる家族等、周囲の人の協力があって学ぶことができる事を忘れず、全力で学校生活を送っていただきたいと思います。



### 修了しての感想

第18回警防活動教育に入校し、非常に充実した研修になりました。座学では、安全管理を学び、安全管理の目的である「受傷者を出さない」ということを再認識しました。同僚を守るため、家族を守るため、市民の身体財産を守るため、「受傷者を出さないため」安全管理を再徹底したいと思います。



実科訓練では、高気密・高断熱の住宅が増えてきている中で、火災性状が変わり、消防戦術も大きく変わってきていることを学びました。中隊長や小隊長として指揮を執ることで、全体的な活動を俯瞰して見ることができ、同時に消防戦術を学ぶことができました。また、連携の難しさを痛感し、分隊内で話し合いを重ねることで連携が取れはじめ分隊が一つになることができました。分隊だけでなく、警防活動教育で共に学び、汗を流した60人の結束が深まったと思います。警防活動教育に入校する際の私の目標でもあった横のつながりを大切にするという目標が達成できました。

これからも消防官として自己研鑽に励み、警防活動教育で学んだ知識・技術を還元していき、埼玉県消防力の向上に繋げていきたいと思っています。

### 後輩へのメッセージ

この警防活動教育は、消防活動の基本から応用まで詰まった内容となっています。これから警防活動教育に入校される方は、一つでも多くの知識・技術を吸収して所属に持ち帰り、還元し、埼玉県消防力の向上に繋げてください。また、警防活動教育は知識・技術の習熟だけでなく、仲間という財産を得られます。学生間の絆を深め、横のつながりを大切にしてください。

ますます警防活動教育が盛り上がるよう、皆様の健闘を祈っています。